

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

部局名	会計管理監【会計課】	部局長名	知敷 憲一郎
-----	------------	------	--------

部局内の 経営資源	当初予算	0. 1 2 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		9 人	人	9 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	会計課の使命は、 公金の適正保全と 債権者への正確な支払いをすることである。		②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 監視会計から経営会計へ 「迅速・正確」な事務処理体制が確立している。 【組織の目標像】 (1) 情報共有により誰でも迅速な対応ができる組織。 (2) 内部研修等で常に資質向上を目指す組織。		
平成２２年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容						
③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）		⑧年度末の達成状況	
会計事務の省力化	(1) 公共料金の口座引落とし	① 関係機関及び各課との研究協議	△	① 指定金融機関との協議 ② 実施市の情報収集	△	① 導入効果を含め財政課との調整が急務。
	(1) 新財務会計システム対応の確立	① 関係課との連携・検証	○	① 財政課との連携による随時改修改善	○	① 概ね随時改修により改善された。 ② 細部改修については、今後、財政課との調整が必要。
経営会計	(1) 資金計画と資産運用	① 的確な収支計画の把握 ② 効率的資金の運用	○	① 大口定期等による効率的運用に努めている	○	① 低金利の中、効率的資金運用に努めた。
⑦年度中間総括	① 公共料金の口座引落としは、指定金融機関協議及び実施市の情報収集等に努めているが、今後、財務会計システムの改修経費等が課題とされる。 ② 新財務システム対応は、財政課との連携により不具合箇所の随時改修改善を行っているが、改修経費につき懸念される。					
⑨年度末総括	① 公共料金の口座引き落としの効果は、会計課では認識しているものの、今後、財政課との調整(効果及び経費等)が必要とされる。 ② 新財務会計システム対応は、随時改修に努め概ね改善されたが、今後、細部改修の必要があり財政課と調整が必要とされる。 ③ 低金利時代にあつて、可能な限り効率的資金運用に努めた。					